

山口県の 中小企業

2013 Feb

2

Vol.658

組合活性化情報 毎月1日発行
平成25年2月1日



やまぐち6次産業化異業種交流会 山口市「ホテルかめ福」



(中央会関連ブース)

特集 平成24年度経済産業省関連補正予算案の概要

■—いま、これを伝えたい!—

潮彩市場ほうふ振興事業協同組合

■県内の元気のある中小企業紹介② Geragera (ゲラゲラ)

■商業・商店街活性化フォーラムのご案内

■組合等ニュース

■中央会ホームページに求人情報をアップしました

■景況動向

■平成24年度決算・税務講習会のご案内

■移動中央会事業「地域情報交換会議」を5会場で開催

■山本県知事との懇談会を開催

■高年齢者雇用安定法が施行されます

—いま、これを伝えたい!—

5つのこだわりを持つて

新鮮な旬な食材をいつも提供!

潮彩市場ほうふ振興事業協同組合

【設立の思い】

当組合は、平成21年12月、瀬戸内の生産者が「新鮮で旬な食材」「安心して食せる食材」をお客様の立場に立った安心価格で提供し、「おいしい食文化」「魚食」についての役に立つ知識、情報を発信するため、海のオアシスの交流施設の建設を目的に設立されました。施設の1階では、地元で水揚げされた鮮魚を中心に昔懐かしい対面形式で販売し、2階の「安



心食堂」は、早朝に水揚げされた新鮮な魚を豪快に、「レストラン」では、フレンチ風に、それぞれアレンジした海鮮料理を提供しています。

【潮彩市場が誓う5つのこだわり】

潮彩市場では、次の「5つのこだわり」をいつも心がけています。ひとつめは、地元食材（地産地消）と安心安全へのこだわり、二つ目は、季節（旬）へのこだわり、三つ目は価格へのこだわり、四つ目は、おいしい食事へのこだわり、そして五つ目は、環境へのこだわりです。地元食材と安心安全では、「生産者の顔が見える」食材を提供し、生鮮三品をはじめ、食材の県産比率80%を目指して、新鮮で安全なものを販売しています。季節では、四季折々の旬な食材のおいしい食べ方、見分け方を積極的に情報発信しています。価格では、市場からの直接仕入れだからこそこできる中間マージンを抑えた安心価格で販売しています。おいしい食事では、朝獲



れた（水揚げされた）高鮮度の食材をベースに料理し、素材本来の味を生かした料理を提供しています。最後に、環境では、包装ひとつとってもリサイクル可能なものにしようにするなど、小さなことからでも「環境」への配慮を推進しています。

【積極的なイベント活動で情報発信】

当組合では、「瀬戸内のおさかな消費拡大事業」と銘打って、毎週木曜日の広告会議を中心に、イベントの企画内容を検討しています。中心的なイベントは、毎月第二日曜日の「旬魚まつり」、第三日曜日は「市場まつり」です。また、秋には、「さかな祭り」を盛大に開催されており、昨年度は3万人以上の集客を成し遂げら

れました。

そして、今年1月には、「牡蠣」料理中心の「カキ小屋 ウミコヤ38」をオープンしました。カキファンにはたまらないお店が新設されるほか、1月20日には、「熱血テレビ」の取材もあり、注目されている市場です。

また、奇数月の第一日曜日には、NHK山口TVの「カフェのんた」にも登場しています。

恒例のイベントを含め、季節に応じたイベントを開催しており、漁業体験や魚のさばき方教室なども行っています。魚離れが進む中、積極的な活動を続けられています。

潮彩市場ほうふ振興事業協同組合

【組合概要】

- 代表者：貞政 芳郎
- 業種：飲食料品小売業、飲食店ほか
- 組合住所：防府市新築地町2-3
- ☎ 0835-28-2100 FAX 0835-22-2621

【組合の主な活動】

共同施設の維持管理、共同販売事業、共同購買事業、教育情報提供事業

平成24年度 経済産業省関連補正予算案の概要

平成25年1月15日 経済産業省

2013年1月15日、平成24年度経済産業省関連補正予算案について閣議決定がなされ、公表されました。紙面の都合上、中小企業・小規模事業者対策関連のみ掲載します。

中小企業・小規模事業者対策

(5、434億円)

(1)新たなビジネスへのチャレンジへの支援、ものづくり支援、商店街の活性化等

○ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金

1、007億円

きめ細かく顧客ニーズをとらえる創意工夫を促すために、ものづくり中小企業・小規模事業者（町工場）が実施する試作開発や設備投資等に要する費用の一部を補助する。（認定支援機関たる地域金融

融機関等と連携し、総合的な支援を講ずる。）

○商店街まちづくり事業（補助）

200億円

商店街振興組合等が、地域の行政機関等からの要請に基づいて、地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備の整備（防犯カメラの設置、街路灯の整備、高齢者の生活のための女性や若手の創業等による空き店舗活用）等を行う場合に補助する。

○地域商店街活性化事業（補助）

100億円

地域の中小小売業者が行う集客力向上の取組や消費喚起イベント等を支援する。

○地域自立型買い物弱者対策支援事業費（補助）

10億円

共同宅配や移動販売等の事業に対し補助を行い、買い物に不便を感じる高齢者等のいわゆる「買い物弱者」に対し、円滑な商品購入機会を確保する。

○中心市街地魅力発掘・創造支援事業費補助金

15億円

中心市街地活性化法に基づき内閣総理大臣の認定を受けた市町村において、まちづくり会社等が実施する取組を支援する。具体的には、①まちの魅力を高めるための事業化調査、②先導的・実証的な取組、③専門人材の派遣に対し、緊急に重点的支援を行う。

○地域需要創造型等起業・創業促進補助金

200億円

地域のニーズを的確に把握し独創的なサービスや商品等を新たに提供する事業計画を持つ女性に対して、その創業事業費等の一部を

補助する。

また、若者の起業・創業に対しても支援を行う。

（それぞれ認定支援機関たる金融機関等と連携し、総合的な支援を講ずる。）

○中小企業・小規模事業者人材対策事業（補助）

282億円

中小企業・小規模事業者における優秀な人材を確保するため、育児等で一度退職し再就職を希望する女性等に対して、中小企業・小規模事業者が行う職場実習を支援する。

また、大学等での中小企業・小規模事業者の魅力発信から、学生と中小企業・小規模事業者とのマッチング、新卒者の採用・定着までを一貫して支援するとともに、新卒者等に対して、中小企業・小規模事業者が行う職場実習を支援する。

○中小企業・小規模事業者海外展開事業化・研修支援事業（補助）

20億円

中小企業・小規模事業者が行う海外展開に係る実現可能性調査（F/S調査）、官民の現地支援機関が連携した現地支援プラットフォーム

フォームの構築等により、中小企業・小規模事業者の海外事業展開実現までの一貫した支援を行う。また、中小サービス業等の海外展開を支える現地従業員を育成するために日本で行う研修等について支援を行う。

○中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業（委託） 15億円

ITクラウドを活用し、100万社以上の中小企業・小規模事業者と、1万以上の専門家・先輩経営者等とをつなぎ、実践的な知識・ノウハウの共有やビジネスマッチング等を実現する。

○地域力活用市場獲得等支援事業（補助） 200億円

中小企業・小規模事業者が行う新商品開発、内外販路開拓、海外共同現地進出、統合財務管理ソフトの開発・導入等を支援することにより、中小企業・小規模事業者の販売力強化、財務管理能力の向上を図る。

○消費税転嫁対策窓口相談等事業（補助） 42億円

消費税率の二段階にわたる引上げや制度変更の円滑な実施のため、中小企業団体等が行う講習会、相談窓口の設置やパンフレット等による周知などに対して補助する。

め、中小企業団体等が行う講習会、相談窓口の設置やパンフレット等による周知などに対して補助する。

(2)経営改善・事業再生支援、資金繰り支援

○認定支援機関向け経営改善・事業再生計画研修事業（補助） 5億円

経営力強化支援法に基づく認定支援機関（税理士、弁護士、金融機関等）に対して、大手会計法人等による研修を実施し、事業再生・経営改善計画の策定能力の強化を行い、中小企業・小規模事業者の事業再生・経営改善を促進する。

○認定支援機関による経営改善計画策定支援（補助） 405億円

中小企業・小規模事業者が行う経営改善計画の策定に対して、経営力強化支援法に基づく認定支援機関が行う支援やフォローアップに対して補助を行う。

○中小企業再生支援協議会の機能強化（補助） 41億円

年3千件程度の事業再生計画の策定支援を確実に実施できるように、中小企業再生支援協議会の全国本部の人員の拡充等の機能強化を進める。

を進める。

○中小企業・小規模事業者の資金繰り支援（その他） 2,893億円
（※財務省計上1,713億円、経産省計上1,180億円）

経営支援とあわせた公的金融・信用保証による資金繰り支援を実施し、中小企業・小規模事業者の再生・経営改善等の取組を推進しながら、中小企業・小規模事業者の資金繰りに万全を期す。

●セーフティネット貸付の創設等 1,407億円

経営環境の変化等により一時的に業況が悪化している中小企業・小規模事業者の経営改善を支援するため、経営力強化支援法に基づく認定支援機関等による経営支援を前提としたセーフティネット貸付の創設等。

●資本性劣後ローンの拡充 986億円

新事業展開・事業再生に取り組む中小企業・小規模事業者に対して、リスクの高い長期（7年・10年・15年）・一括償還の資金（資本性資金）を供給し、財務基盤を強化することで、民間からの協調融資を呼び込み、中小企業・小規模事業者の資金繰りを安定化。

※資本性資金とは、法的倒産手続きの開始決定がなされた場合に、全ての債務に劣後する融資であり、金融庁の金融機関向け検査では「自己資本」とみなすことができる。

●借換保証の推進 500億円

経営力強化支援法に基づく認定支援機関の力を借りながら、経営改善に取り組む場合に保証料を減免する経営力強化保証など、複数の借入債務を一本化し返済負担の軽減を図る借換保証を推進し、中小企業・小規模事業者の資金繰りを安定化。



平成25年度 中小企業・小規模事業者関係税制改正結果(主要項目)

事業承継税制の拡充 (平成27年1月施行)

事業承継税制の適用要件の見直しや手続の簡素化を通じ、制度の使い勝手の大幅な改善を図る。

後継者は、先代経営者の親族に限定

➡ 親族外承継を対象化

雇用の8割以上を「5年間毎年」維持

➡ 雇用の8割以上を「5年間平均」で評価

要件を満たせず納税猶予打切りの際は、納税猶予額に加えて利子税の支払いが必要

➡ 利子税率の引下げ (現行2.1%→0.9%)
承継5年超で、5年間の利子税免除

相続・贈与から5年後以降は、後継者の死亡又は会社倒産により納税免除

➡ 民事再生・会社更生・中小企業再生支援協議会での事業再生の際、納税猶予額を再計算し、一部免除

先代経営者は、贈与時に役員を退任

➡ 贈与時の役員退任要件を代表者退任要件に (有給役員として残留可)

制度の利用の前に、経済産業大臣の「認定」に加えて、「事前確認」を受けておく必要

➡ 事前確認制度を廃止

猶予税額の計算で先代経営者の個人債務・葬式費用を控除するため、猶予税額が少なく算出

➡ 先代経営者の個人債務・葬式費用を株式以外の相続財産から控除

商業・サービス業・農林水産業 活性化税制の創設

商業・サービス業・農林水産業を営む中小企業等の活性化に資する設備投資を促進する。

中小企業等



①相談

②活性化等の
アドバイス

アドバイスを
行う機関

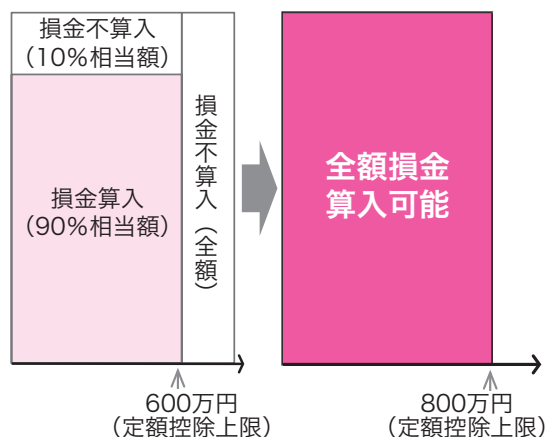
認定経営革新等支援機関：
中小企業団体中央会、
商工会議所、商工会 等

③アドバイスを踏まえた器具備品 (30万円以上)
建物附属設備 (60万円以上) への投資

税制措置 (特別償却 (30%) 又は税額控除 (7%))

中小法人の交際費課税の特例の拡充

中小法人が支出する800万円以下の交際費を全額損金算入可能とする。



地産ドーナツ型焼き菓子のシリーズ化 で山口県をPR

Geragera(ゲラゲラ)

Geragera(ゲラゲラ)は、2007年4月に開業。「山口県農産品、加工品とドーナツ型焼き菓子」を合わせた地産商品のシリーズ化「製造販売」をテーマに平成24年11月28日に「経営革新計画」の承認を受けました。

Gerageraは、大手ベーカリーチェーンでの経験や知識を生かしてオリジナルドーナツを開発し、攻めの販売ができるケータリングカーを使用した移動販売ビジネスに参入しました。主に、地元スーパーや企業及び公共団体等が主催するイベントへの出店を中心に営業を展開し、知名度を上げている萩市の事業者です。

これまでのサービスエリアや観光地でのイベント等への出店経験から、例えば、萩市に観光に来られた方は必ずしも萩産にこだわっている訳ではなく、山口県に来られたら山口県でしか販売されない物が欲しいという地域的に広い欲求を持っていることがわかりました。そこで、県外客を主なターゲットにした「山口県をアピールできるドーナツ型焼き菓子」をシリーズ化すること、販売の促進を図ることにしました。1ヶ所で山口県をアピールできるドーナツ型焼き菓子を多種類選ぶことができ、なおかつ、人目を引くケータリングカーで販売することでお客様に喜んでいただき、山口県のイメージアップへのお手伝いが少しでもできればと考えています。



お問い合わせ先

Geragera(ゲラゲラ)

代表者：秋枝 泰夫

〒758-0025

萩市土原299-2

E-mail info@gera-gera.jp

URL http://www.gera-gera.jp/

商業・商店街活性化フォーラム

～若手の力で“こんな商店街”にしたい!～

趣旨：山口県商店街振興組合連合会では、魅力ある活動を発信し、今後の商業・商店街活性化に向けた取り組みを促進するため、『商業・商店街活性化フォーラム』を開催します。基調講演では、商店街活性化に取り組む岡崎まちゼミの会(愛知県岡崎市)の松井代表よりご講演を頂きます。パネルディスカッションでは、商店街の未来像についてワークショップを行った“第三弾やまぐち商人塾”で出た意見の提言の場として、山口・周南・防府の商店街活性化の取り組みや意見をご紹介します。

日時：平成25年2月18日(月) 18:00～20:30

場所：新山口ターミナルホテル2Fクリスタルホール

(山口市小郡下郷1292番地 ☎083-972-0002 [山口駅北口正面])

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

プログラム：基調講演 18:00～19:00

「まちゼミ」で街、商店街を元気に」

岡崎まちゼミの会 代表 松井 洋一郎 氏

パネルディスカッション 19:00～20:30

「若手の力で“こんな商店街”にしたい!」

懇親交流会(会費：4,000円)..... 20:30～22:00

申込み・お問い合わせ

山口県商店街振興組合連合会 事務局(担当：山口県中央会：水野)



全国に先がけて「IT経営カンファレンス」を開催

アイティコーディネータやまぐち協同組合
1月23日(水)、アイティコーディネータやまぐち協同組合(三宅功一郎理事長)は、「IT経営カンファレンス in 山口」を山口市の「山口グランドホテル」で開催しました。

同カンファレンスは、地域におけるITコーディネータと中小企業とのマッチング、顧客開拓等を目的に、平成25年1～3月にかけて全国6地域で開催されるもので、「IT経営力大賞」受賞企業を支援したITコーディネータが所属する企業による講演のほか、スマートホンを活用した観光誘致やWEBを活用した新しい顧客の囲い込みについて事例発表が行われました。



「やまぐち6次産業化異業種交流会」へ出展



後久博氏の基調講演風景

1月31日(木)、山口市の「ホテルかめ福」にて、本会が後援する「やまぐち6次産業化異業種交流会」が開催され、約400人の参加者でにぎわいました。本会では平成23年度から取り組んでいる農工商連携等人材育成・フォローアップ事業の一環として、交流会(展示会)に11ブース(26企業等)を設けました。

当日は、農工商連携や地域資源を活用した新事業展開をはじめ、6次産業化につながる「食」に関する様々なノウハウが集約された商品を出展するとともに、連携組織ツールとなる組合制度及びビジネス

スマッシングについての相談にも随時応じました。

「やまぐち6次産業化異業種交流会」では、午前中に、「農林水産物を活用した売れる商品づくりのポイント」と題して、コーソー経営研究所長の後久博氏の基調講演があり、午後からは、事例発表会として、6次産業化に取り組んでいる本会会員組合傘下の(有)名田島農産、(有)長門アグリリストなど、4つの事例が発表され、その後、約50のブースが設けられた会場では、展示・試食が行われ、多くの食品製造加工業者や行政機関の関係者が積極的な情報交換を行いました。



中央会ホームページに求人情報をアップしました

本年1月より、従業員を募集している中央会会員・傘下事業所を掲載しています。求人内容の詳細は各企業にお問合せください。

また、求職情報も掲載していますので、是非ご活用ください。

URL : <http://axis.or.jp/jobinfo/job-openings>

月次景況調査結果

平成24年12月期

※DI値(前年同月比)＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合

(表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

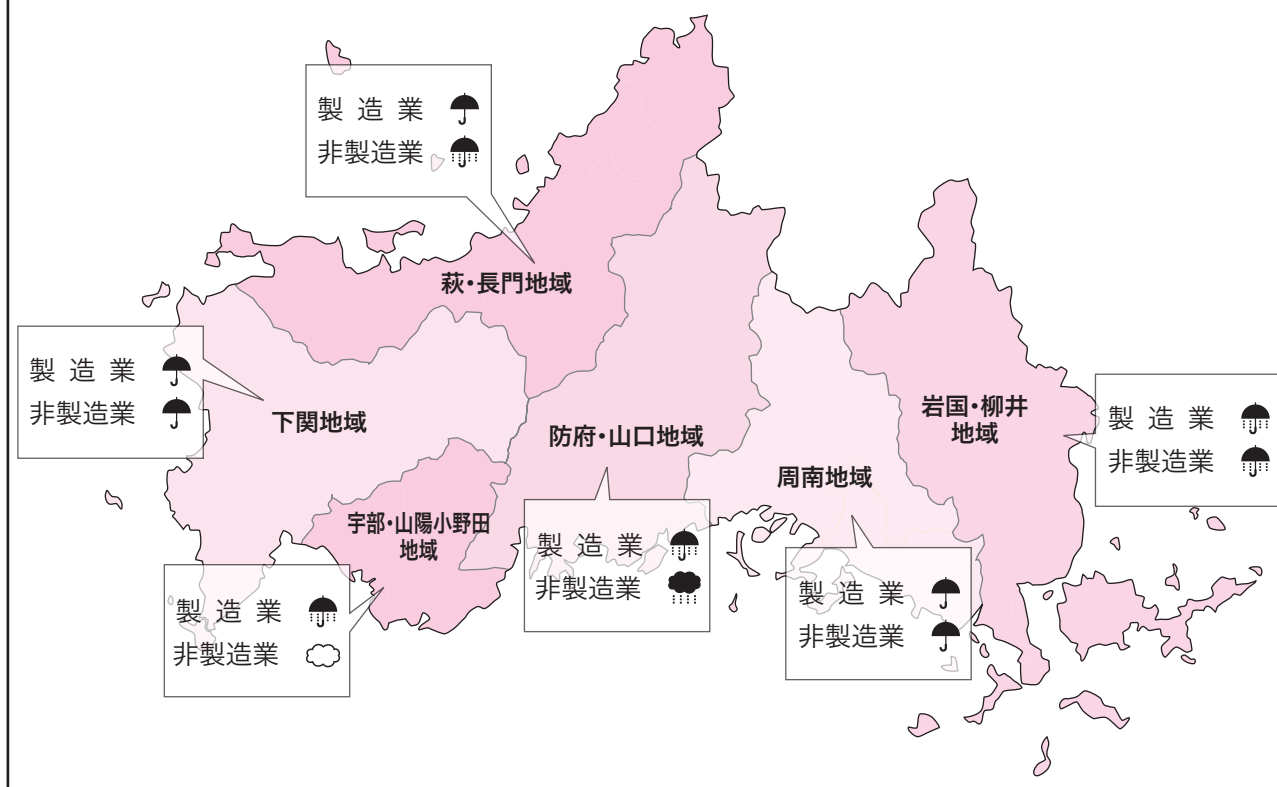
	業 種	12月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	↘
	織 維 工 業	☂	→
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	↗
	一 般 機 器	☂	→
	輸 送 機 器	☂	→
非 製 造 業	卸 売 業	☂	→
	小 売 業	☂	↘
	商 店 街	☂	↗
	サ ー ビ ス 業	☂	→
	建 設 業	☂	→
	運 輸 業	☂	↗

山口県内の「業界の景況(前年同月との比較)」は、悪いと感じている人が、11月より減少している。小売業では、寒波にも関わらず、前年同月比でプラスとなったとの報告もあるが、地域によっては百貨店の閉店発表以来、低調であるとの報告もある。建設業では、公共工事は依然として低調との報告である。景気は一部で若干回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況が続いており、新政権による景気回復策に期待する声が多い。

DI値

30以上	☀	－30以上－10未満	☂
10以上30未満	☁	－50以上－30未満	☂
－10以上10未満	☁	－50未満	☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成24年12月期

地区・業種を代表とする県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://www.axis.or.jp/>) の「月次景況調査」に掲載していますのでご活用下さい。

製造業	食料品	☔	○ クリスマスケーキは全体的に低調であった。(パン・菓子製造業) ○ 12月は昨年同月比▲2.5%。年末年始の7日間は過去最高であった昨年末を10%程度上回っている。(水産食料品製造業)
	繊維工業	☔	○ 先月と状況は変化なく、来春物の受注が低調で厳しい。発注元が、国内生産中止を検討しており、来期の存続が危ぶまれる企業がある。(下着類製造業) ○ 10月～11月の受注は少なかったが、12月中旬頃より春物の受注が増え始めている。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☔	○ 公共事業等が出ているが、短納期・高品質等の問題があり受注できていない。(製材業・木製品製造業)
	印刷	☔	○ 採算無視の受注が続き、過度の価格競争が業界全体を疲弊させている。県の一般競争入札について要望した結果、「最低制限価格制度」が導入されることとなった。(印刷)
	窯業・土石製品	☔	○ 対前年同月比は、骨材117%、路盤材137%、再生材102%、全体では120%。前年度に比べると出荷量は増えているが、年末の一時的なものと思われる。砕石同業者の倒産など状況は厳しい。(砕石製造業)
	一般機器	☔	○ 中国経済の悪化に伴い、平成24年春先より、半導体、工作機械の設備投資関係の落ち込みが激しく、一昨年の同月比で50%以上の受注減となった。(一般機械器具製造業) ○ 12月の金型受注は、中旬以降に確定し、来年1月・2月の仕事の確保は出来ている。(特殊産業用機械製造業)
	輸送機器	☔	○ 車両、精密加工業種とも、好転の材料が見出せない。春先まで現状の低迷状況が続く見通しで、市場が動き出すまで数か月を要すると予想される。(鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☔	○ 各業種とも売上、利益とも低調で厳しい状況で推移しているが、11月下旬から12月は、売上が若干の増加傾向にある。(周南市)
	小売業	☔	○ 年の瀬の売買は、以前ほど動いておらず、依然厳しい状態。(中古品小売業) ○ 寒波にも関わらず、取扱件数・金額とも、前年同月比でプラス。(山口市)
	商店街	☔	○ 引き続き飲食店が増加しているため、既存の飲食店にとっては脅威となっているが、選択肢が増えた遠来客にとってはメリットとなっている。(山口市) ○ 歳末の盛り上がりは無い。高齢化、人口減少、郊外大型店の攻勢により、消費者から商店街が忘れ去られそうに感じる年末であった。(萩市)
非製造業	サービス業	☔	○ 美容業の活性化の為、マナーや礼儀を習う「和の会」を発足している。これにより組合員の意識が高まり、営業に役立てば良いと思っている。(美容業) ○ 対前年同月比では▲4%。組合事務所に観光案内所を併設し、年中無休で対応しているが、最近、電話の問合せや、訪問客数が激減している。(旅館業) ○ 海外に行く方々に、国内旅行を選んでいただけるような仕組みの必要性を感じる。(旅館業)
	建設業	☔	○ 再生エネルギー買取の優遇の見直しにより、太陽光発電の申請は続いている。(電気工事業) ○ 24年12月の受注高は、対前年同月比で57%。今年度の累計は、対前年比で80%。(土木工事業)
	運輸業	☔	○ 近年はスーパーマーケット等の小売店が元旦から営業していることによる影響や、お歳暮の影響などで、食品関係の輸送は年末に向けてさらに増加することが予想される。(一般貨物自動車運送業) ○ 燃料は原油価格の上昇とも関連し上昇している。前年度値下がりしていたことや石油・石炭税が加わったこともあり、12月のタクシー会社の購入単価は前年比+13%となり、使用量が多くなるこの時期に、タクシー会社の負担がますます増加することになる。(一般旅客自動車運送業)

平成24年度決算・税務講習会のご案内

- 日 時 平成25年 3月6日(水) 10:00～16:30 *午後からの参加も可能です。
 ○場 所 小郡ふれあいセンター 2F 集会室 (山口市小郡下郷1440-1 ☎083-973-0003 *駐車場あり)
 ○講 師 富田税理士事務所 所長 富田 哲也 氏

○日程及び内容

10:00～12:00 【会計編】中小企業会計啓発・普及セミナー『会計を経営に活かす』

平成24年に国が策定した「中小会計要領」に則って、決算書から何を読み取り、それをどのように活かして、金融機関からの資金調達や取引先等からの受注拡大につなげれば良いかを学びます。

12:00～13:30 昼 食・休 憩

13:30～15:00 【税務編】組合関係税制の改正等について

知っておきたい税務の基本事項や24・25年度組合関係税制の改正、組合特別税制(①利用分量配当の損金算入、②賦課金の仮受金経理、③留保所得の特別控除)等について学びます。

15:00～15:10 休 憩

15:10～16:30 【税務申告編】申告書の基本的な作成について

組合税務申告書の基本的な作成手順(法人税等の申告書記載と税額の計算)等について学びます。

- 対象者 組合役職員や組合経理担当者等(定員80名)
 ○受講料 1人1,000円(当日、受付で申し受けます。)
 ○持参物 電卓、筆記用具をご持参ください。
 ※お申込み・お問い合わせ 組織支援班(担当:洗川) ☎083-922-2606

移動中央会事業「地域情報交換会議」を5会場で開催



本会では、昨年度に続いて、1月に、県内各地区の中小企業組合や連携組織の状況等、会員の皆様のニーズ等をお聞きする移動中央会事業「地域情報交換会議」を県下5会場で開催し、約130名の出席がありました。

今回は、1月に開催したこともあり、賀詞交換の場として、会員の役職員の皆さんと気軽に昼食をとりながら、組合や組合員等の要望について語り合う「ランチミーティング」を初めて行いました。

ランチミーティングの後には、はじめに、本年3月にて終了する「中小企業金融円滑化法」をテーマに、税理士法人いそべ 代表社員 小平敏彦氏(税理士、中小企業診断士)を講師に招いて、「中小企業金融円滑化法終了を踏まえた生き残りのポイント」と題して講話を行い、今後、中小企業が金融機関に提出する経営改善計画策定の留意点等についてお話を聞きました。

また、中央会事業について、事務局から説明を行い、引き続いて、出席いただいた行政等から中小企業に対する支援策について情報提供があり、その後、意見交換会を行いました。この中で、出席者からは企業・組合等の現状と課題等の現状・問題点、本会への要望等の情報提供があり、前向きな発言がある中、厳しい組合の運営状況や組合員の減少等の多くの課題についても発表されました。

今後、中央会としては、今回の会議にて収集した様々な地域の会員の皆様の声を反映した取り組みを目指していきます。



山本県知事との懇談会を開催



本会では、1月16日(水)、山口県庁にて、山本繁太郎山口県知事と本会の伊藤会長、山田副会長、岡本副会長、前村副会長との懇談会を開催しました。

山口県からは知事のほか、半田健二商工労働部長、賀屋哲也経営金融課長が出席されました。

伊藤会長より、本会の概要、県内中小企業の現状と課題、近年の本会の取り組みと成果及び中小企業等協同組合の必要性等を説明した後、以下の3点について要望を行い、和やかな雰囲気の中に懇談を終了しました。

- (1) 地域産業の活性化や雇用に直結するような、あらゆる景気対策の切れ目のない機動的な推進
- (2) 地域活性化に貢献する企業間連携、組合間連携等の事業化や次代を担う人材育成への支援の充実・強化
- (3) 中央会支援体制の拡充・強化



前村副会長 岡本副会長 山本知事 伊藤会長 山田副会長

平成25年4月1日から希望者全員の雇用確保を図るための高年齢者雇用安定法が施行されます!

急速な高齢化の進行に対応し、高年齢者が少なくとも年金受給開始年齢までは意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」（高年齢者雇用安定法）の一部が改正され、平成25年4月1日から施行されます。今回の改正は、定年に達した人を引き続き雇用する「継続雇用制度」の対象者を労使協定で限定できる仕組みの廃止などを内容としています。

改正のポイント

- 1 継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みの廃止
- 2 継続雇用制度の対象者を雇用する企業の範囲の拡大
- 3 義務違反の企業に対する公表規定の導入
- 4 高年齢者雇用確保措置の実施および運用に関する指針の策定

◆ 改正法や高年齢者雇用確保措置について詳しくは、最寄りのハローワークへお問い合わせください。

<http://www.mhlw.go.jp/kyujin/hwmap.html>

◆ (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構の各都道府県にある高年齢・障害者雇用支援センターでは、高年齢者雇用アドバイザーの派遣などにより、高年齢者雇用についての相談を行っています。

<http://www.jeed.or.jp/jeed/location/loc01.html>



厚生労働省・山口県労働局・ハローワーク

今月の

さわやかレター

2013
Feb



山口県遊技業協同組合
田中 仁美さん

入職8年目で、組合行事の企画・立案等を含めて、事務全般を担当されている田中さん。

最近、熱中していることは、仕事のスキルアップも兼ねて、パソコン技能のレベルアップを目指してスクールに通っているとのこと。

モットーは、「いつも目標を持ち続ける人生でありたい。」という言葉で、これは、こどもの頃から変わらない生き方だそうです。

事務局では、男性2名、女性2名の少人数ですから、楽しい職場づくりをいつも心がけています。

組合のPRをお願いしたところ、「健全娯楽の充実を目指して活動しています。」と笑顔で応えていただきました。

表紙写真

やまぐち6次産業化異業種交流会
山口市「ホテルかめ福」

編集・発行

 **山口県中小企業団体中央会**

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://www.axis.or.jp/>



中小企業の情報発信 連携支援サイト <http://son19.com>

商稼村塾やまぐち連携交流プラザ



印刷製本 株式会社 桜プリント社